

使用製品

歯 - ブリッジ - 酸化セラミックス - 保持形態のある形成 - 歯肉縁上および歯肉縁 - 保持形態のない形成 - SpeedCEM Plus

☐ スピードセム Plus

化学重合ベースのデュアルキュア型セルフアドヒーシブタイプの接着性レジンセメントです。



☐ プロキシット F フリー

フッ化物無配合のクリーニングペーストです。



☐ オプトラスティック

接着性チップを持つ補助インスツルメント。修復物の保持に使用します。



☐ イボクリーン

口腔内試適後、修復物の接着面を効果的にクリーニングするクリーニング材です。



☐ オプトラゲート

口唇や頬粘膜を確実に排除し、防湿を補助します。



☐ リキッドストリップ

硬化時、酸素と触れることで形成されるコンポジットレジンの未重合層を抑制するためのグリセリンゲルです。



☐ オプトラポール

コンポジットレジンを仕上げ研磨する、1ステップの研磨バーです。



☐ Fluor Protector (日本未導入)

Fluor Protector (日本未導入) is a protective fluoride varnish for desensitization and caries prophylaxis.



フローチャート SpeedCEM Plus

歯 - ブリッジ - 酸化セラミックス - 保持形態のある形成 - 歯肉縁上および歯肉縁 - 保持形態のない形成 - SpeedCEM Plus

1 テンポラリーの除去



仮封材を除去します。必要に応じて、支台歯に残存した仮封材をポリッシングブラシとフッ化物およびオイルフリーのクリーニングペーストを使用して除去します(プロキシット F フリー等)。その後、支台歯を水分およびオイルフリーのエアで乾燥します。

2 修復物の試適



最終修復物を試適します。この時、修復物のシェード、適合、咬合状態を確認します。

3 修復物の前処理



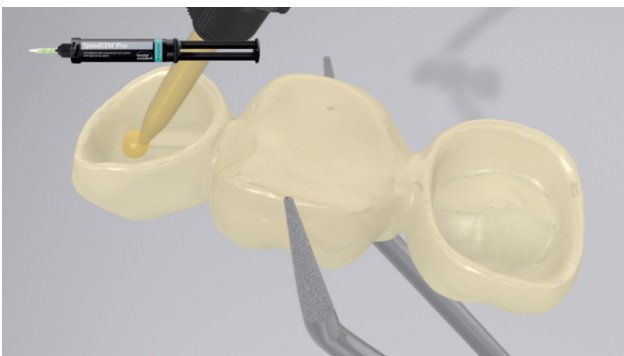
修復物の内面をブラスティングします (IPS e.max ジルキャド の場合:1気圧、酸化アルミナ100。材料メーカーの指示に従って行ってください)。

4 支台歯の防湿と清掃



支台歯をポリッシングブラシと、フッ素およびオイルフリーのクリーニングペーストでクリーニングし (e.g. プロキシット F フリー)、水洗します。その後、水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。この時、乾燥しすぎないように注意してください。

5 スピードセム Plusの塗布

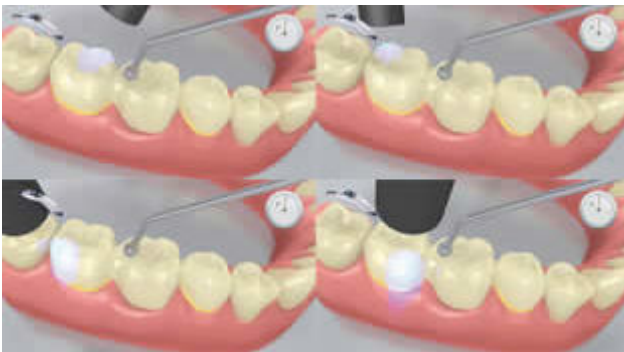


スピードセム **Plus** をオートミックスシリンジから押し出し、必要量を修復物の接着面に直接塗布します。

6 修復物の装着と余剰セメントの除去



修復物を装着し、硬化まで軽い一定の圧力で圧接します。



余剰セメントを1秒間、それぞれの面（近心舌側、遠心舌側、遠心頬側、近心頬側）に約0～10 mmの距離で光照射（約650 mW/cm²）します。



ゲル状に半硬化した余剰セメントはスケーラー等で簡単に除去できます。



他のコンポジットレジン同様に、スピードセム **Plus** は、酸素による未重合層が生じます。この問題を避けるため、修復物のマージン部分を余剰セメント除去後すぐに、グリセリンゲル/エアバリア材（リキッドストリップ）で覆います。



その後、マージンに沿って、多方向から20秒ずつ（約1,100 mW/cm²）光照射します。オペーク色、つまり光が透過しにくい材料の場合は、化学重合による硬化をお勧めします。



リキッドストリップを水洗し、オプトラゲートや防湿用パッド、圧排糸を除去します。

7 仕上げ



隣接面は、フィニッシャーやポリッシャーで仕上げ研磨を行います。咬頭嵌合位および機能運動時の咬合関係を確認し、必要があれば調整します。修復物マージンを研磨バーもしくはディスクで仕上げ研磨します。（オプトラポル）

8 フッ化物塗布



A thin film of **Fluor Protector** (日本未導入) is applied with a Vivabrush or brush and distributed evenly. The varnish is dried with an air syringe.